

取組事例 音楽合宿のまち「るもい」事業による交流・関係人口の拡大

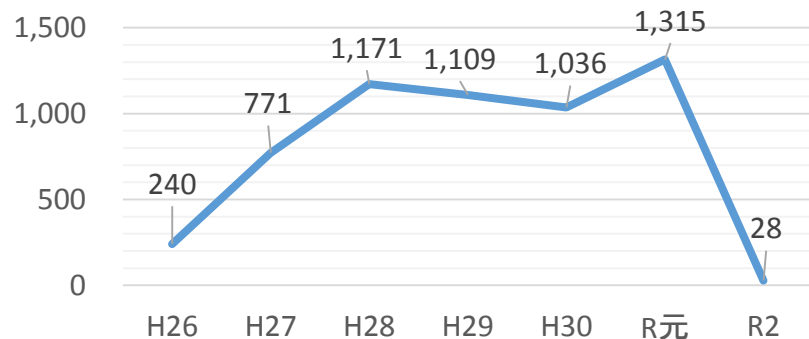
(留萌市)

留萌市では、市民団体が主導し手づくりの誘致活動を展開する音楽合宿事業について、市民が音楽にふれあい、合宿を受け入れるおもてなしの心の醸成や、新しい人の流れを「縁」につなげ、交流人口の拡大や、将来の移住、定住に繋げるための未来への投資として事業を実施している。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H30)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
留萌IC開通と連動した交流・関係人口の拡大(人)	—	290,232	350,400	82.8
音楽合宿による延宿泊数(泊)	1,036	28	1,036	2.7

音楽合宿受入状況(延べ宿泊数)



平成26年度からスタートした音楽合宿誘致の取り組みは、令和元年度に延べ宿泊数は1,315泊と、過去最大の人数となったが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響により大幅に減少した。

取組の推進体制

実施主体である留萌吹奏楽後援会、主たる合宿施設の施設管理者である留萌スポーツ協会、留萌市の3者で構成される「留萌市合宿誘致連携会議」において随時情報共有を行いながら、官民の連携により効果的に取組を推進。

取組事例

健康・賑わい留萌ブランド戦略

音楽合宿のまち「るもい」事業

○主な取組

全国的に高い評価を受けている音楽合宿に関し、合宿受入れに向けて市民力が継続的に発揮できる環境を整えることによって、合宿を通じて市民が音楽に触れあう機会を提供するとともに、交流人口の拡大を図るため、一般社団法人留萌青年会議所が実施する音楽合宿の取り組みに対し、文化センター等の施設及び備品の使用に係る費用を支援する。

○主な成果(令和2年度実績)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加数は例年を大幅に下回る1団体14名であったが、練習施設の使用料を負担し参加団体及び実施主体の活動を支援するとともに、交流人口の拡大を促進した。

今後は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上での受け入れが課題である。



※平成30年8月撮影



※令和元年8月撮影